



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 タツモ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6266 URL <https://www.tazmo.co.jp/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 亀山 重夫

TEL 086-239-5000

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	9,268	9.9	1,231	183.1	1,209	204.1	891	230.3
2019年12月期第2四半期	8,432	1.3	435	39.8	397	43.1	269	52.7

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 866百万円 (357.2%) 2019年12月期第2四半期 189百万円 (62.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	66.41	
2019年12月期第2四半期	20.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	26,009	11,091	42.0	813.23
2019年12月期	25,785	10,337	39.5	757.95

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 10,921百万円 2019年12月期 10,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		9.00	9.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,775	14.0	1,357	40.2	1,334	46.4	918	26.4	68.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	13,508,300 株	2019年12月期	13,508,300 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	78,729 株	2019年12月期	83,294 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	13,426,498 株	2019年12月期2Q	13,417,674 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 ~ P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(受注状況)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルスの感染拡大の影響により経済活動が急速に減速し、先行き不透明な状況で推移いたしました。日本においては5月に緊急事態宣言が解除されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化すれば経済活動はさらに下振れするリスクが見込まれます。

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、スマートフォン関連の需要の減少が見られましたが、一方において、サーバーや5G（次世代移動通信）向けなどの電子部品の需要の拡大を見込んだ設備投資は堅調に推移いたしました。

また、2020年1月1日付で連結子会社のアプリシアテクノロジー株式会社を吸収合併いたしました。

このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、出張等に制限のある中で顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動を維持してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は92億68百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益12億31百万円（前年同期比183.1%増）、経常利益12億9百万円（前年同期比204.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億91百万円（前年同期比230.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（プロセス機器事業）

半導体装置部門につきましては、半導体関連の設備投資が慎重な傾向にありますが、利益率の高い半導体製造装置が検収されたため、売上高は21億14百万円（前年同期比117.0%増）となりました。

搬送装置部門につきましては、納期や価格は厳しい状況で、売上高は25億51百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

洗浄装置部門につきましては、豊富な受注残高があり、国内メーカーで洗浄装置の引渡しが早期に完了したため、売上高は16億46百万円（前年同期比129.5%増）となりました。

コーター部門につきましては、前年よりも受注残高は増えているものの、海外の大型装置の販売減少のため、売上高は9億65百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は72億78百万円（前年同期比21.8%増）、営業利益11億97百万円（前年同期比245.5%増）となりました。

（金型・樹脂成形事業）

金型・樹脂成形事業につきましては、スマートフォン関連の需要低迷の影響はありましたが、売上・受注ともに微増でコスト削減効果もあり、売上高は7億28百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益34百万円（前年同期比552.2%増）となりました。

（表面処理用機器事業）

表面処理用機器事業につきましては、車載用プリント基板メーカーの設備投資は比較的堅調でありましたが、製造拠点の中国工場の稼働が新型コロナウイルスの影響で大幅に低下したことにより、売上高は12億61百万円（前年同期比28.2%減）、営業損失7百万円（前年同期は営業利益90百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は190億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億18百万円増加しました。これは「現金及び預金」と「たな卸資産」の増加が主な要因であります。有形固定資産は59億57百万円となり、前連結会計年度末より6百万円増加しました。これは「建物及び構築物」の増加が主な要因であります。無形固定資産は1億55百万円となり、前連結会計年度末より6百万円減少しました。これは「のれん」の減少が主な要因であります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億24百万円増加し、260億9百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は116億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億85百万円の減少となりました。これは、仕入の増加に伴い「電子記録債務」が増加したものの「前受金」及び「短期借入金」が減少したことが主な要因であります。固定負債は32億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億44百万円の減少となりました。これは、「長期借入金」の減少が主な要因であります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ5億29百万円減少し、149億17百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は110億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億54百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による「利益剰余金」の増加が主な要因であります。

②当四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は30億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億30百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、獲得した資金は15億75百万円(前年同期比15億16百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少、減価償却費及び仕入債務の増加等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、使用した資金は2億83百万円(前年同期比1億7百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、使用した資金は7億46百万円(前年同期は1億74百万円の獲得)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、売上計上月のずれ等により、売上高は予想を下回る見込みとなりましたが、利益面では、利益率の高い装置が売上計上されたことや、従来から取り組んでおります原価低減活動の効果により、2020年12月期第2四半期連結累計期間の予想数値が前回公表した予想数値を上回ったため、2020年2月14日に公表しておりました2020年12月期第2四半期の連結業績を修正いたしました。詳細につきましては、2020年7月31日公表の「2020年12月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、利益については計画を上回る状況で推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により不確定要素があるため、現時点では前回の予想数値を据え置いております。今後、業界や設備投資の動向を注視し、修正が必要になった場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において連結子会社であったアプリシアテクノロジー株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,534,902	3,065,336
受取手形及び売掛金	3,992,565	3,539,791
電子記録債権	1,634,659	1,806,317
たな卸資産	9,882,294	9,900,354
その他	812,331	763,802
流動資産合計	18,856,753	19,075,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,701,119	3,733,274
機械装置及び運搬具（純額）	554,147	486,020
土地	1,259,555	1,259,555
その他（純額）	435,463	478,315
有形固定資産合計	5,950,285	5,957,166
無形固定資産		
のれん	10,204	—
ソフトウェア	146,485	150,115
その他	5,822	5,768
無形固定資産合計	162,513	155,883
投資その他の資産		
投資有価証券	1,064	1,186
繰延税金資産	379,147	398,929
その他	435,596	420,783
投資その他の資産合計	815,808	820,900
固定資産合計	6,928,607	6,933,950
資産合計	25,785,360	26,009,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,672,324	1,510,422
電子記録債務	1,109,913	1,518,359
短期借入金	2,176,777	1,857,637
未払金	1,245,648	1,145,948
未払法人税等	102,635	357,807
前受金	5,009,685	4,786,393
賞与引当金	127,921	108,260
製品保証引当金	236,697	201,587
株式給付引当金	6,955	5,384
その他	125,512	136,816
流動負債合計	11,814,070	11,628,616
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	2,541,886	2,239,177
株式給付引当金	184,483	202,594
役員退職慰労引当金	14,811	12,242
役員株式給付引当金	53,829	67,131
退職給付に係る負債	185,615	49,191
資産除去債務	127,244	129,402
その他	225,954	289,555
固定負債合計	3,633,824	3,289,294
負債合計	15,447,894	14,917,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,724,067	2,724,067
資本剰余金	2,645,988	2,645,988
利益剰余金	4,999,264	5,769,410
自己株式	△184,119	△173,857
株主資本合計	10,185,200	10,965,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	172
為替換算調整勘定	△9,818	△44,475
その他の包括利益累計額合計	△9,708	△44,302
非支配株主持分	161,973	170,335
純資産合計	10,337,465	11,091,641
負債純資産合計	25,785,360	26,009,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,432,636	9,268,295
売上原価	6,304,427	6,372,325
売上総利益	2,128,208	2,895,970
販売費及び一般管理費	1,692,962	1,663,995
営業利益	435,245	1,231,974
営業外収益		
受取利息	4,462	2,080
補助金収入	25,308	13,578
その他	9,476	10,828
営業外収益合計	39,247	26,487
営業外費用		
支払利息	28,192	18,636
為替差損	44,261	28,474
その他	4,383	2,259
営業外費用合計	76,837	49,370
経常利益	397,655	1,209,091
特別利益		
固定資産売却益	9,999	—
特別利益合計	9,999	—
税金等調整前四半期純利益	407,655	1,209,091
法人税等	135,747	307,414
四半期純利益	271,908	901,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,942	9,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	269,965	891,706

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	271,908	901,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	62
繰延ヘッジ損益	111	—
為替換算調整勘定	△82,483	△35,036
その他の包括利益合計	△82,331	△34,974
四半期包括利益	189,576	866,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,274	857,111
非支配株主に係る四半期包括利益	△698	9,590

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	407,655	1,209,091
減価償却費	202,923	270,985
のれん償却額	20,409	10,204
固定資産売却損益(△は益)	△9,999	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,329	△19,334
株式給付引当金の増減額	17,530	16,540
役員株式給付引当金の増減額	191	13,302
売上債権の増減額(△は増加)	△328,016	243,797
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,374,203	△49,532
仕入債務の増減額(△は減少)	△143,820	277,242
前受金の増減額(△は減少)	1,271,788	△189,580
その他	176,676	△140,300
小計	262,466	1,642,417
法人税等の支払額	△180,223	△50,479
その他の支出	△23,724	△16,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,518	1,575,382
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△29,264	—
定期預金の払戻による収入	29,264	—
有形固定資産の売却による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△347,199	△273,523
無形固定資産の取得による支出	△58,936	△23,939
その他	5,039	14,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391,096	△283,291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,666,189	△250,790
長期借入れによる収入	2,800,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△804,607	△621,059
配当金の支払額	△149,305	△121,021
非支配株主への配当金の支払額	—	△1,228
その他	△5,783	△2,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	174,115	△746,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,202	△14,672
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△174,665	530,434
現金及び現金同等物の期首残高	2,726,524	2,534,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,551,859	3,065,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による会計上の見積りについて)

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大については、その収束時期等を正確に予測することが困難な状況でありませんが、第2四半期連結累計期間までは、その影響は限定的であり、当期中は同程度の影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りに重要な影響はないものとして会計処理しております。なお、新型コロナウイルス感染症の急拡大や長期化するなど上記仮定に変化が生じた場合には、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂成 形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,974,593	702,175	1,755,867	8,432,636	—	8,432,636
セグメント間の内部売上 高又は振替高	98,536	33,300	23,491	155,328	△155,328	—
計	6,073,129	735,476	1,779,359	8,587,964	△155,328	8,432,636
セグメント利益	346,544	5,350	90,147	442,042	△6,796	435,245

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂成 形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,278,548	728,576	1,261,171	9,268,295	—	9,268,295
セグメント間の内部売上 高又は振替高	10,214	74,443	4,975	89,632	△89,632	—
計	7,288,762	803,020	1,266,146	9,357,928	△89,632	9,268,295
セグメント利益又は損失 (△)	1,197,306	34,891	△7,076	1,225,121	6,853	1,231,974

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 補足情報

(受注状況)

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

1. 受注高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) (千円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	6,995,035	8,348,652	119.4
半導体装置	2,253,672	1,817,550	80.6
搬送装置	2,956,964	2,585,800	87.4
洗浄装置	534,626	2,296,961	429.6
コーター	1,249,772	1,648,339	131.9
金型・樹脂成形事業	654,383	689,357	105.3
表面処理用機器事業	2,441,123	1,509,935	61.9
合計	10,090,541	10,547,945	104.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 受注残高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) (千円)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	10,908,360	12,285,925	112.6
半導体装置	2,879,252	2,026,845	70.4
搬送装置	2,277,123	1,814,122	79.7
洗浄装置	2,079,510	3,966,881	190.8
コーター	3,672,474	4,478,076	121.9
金型・樹脂成形事業	161,606	163,477	101.2
表面処理用機器事業	2,893,055	2,076,359	71.8
合計	13,963,022	14,525,762	104.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。